

安全・快適に走る、そのすべてを。

COMPANY PROFILE



www.izumi-automobile.jp



お客さまのお客さまも、 私たちの大切なお客さまです。

お客さまの車が止まると、私たちの車は走ります。

それは、自動車整備業として当たりまえの仕事ですが、

ほんとうは、当たりまえになってはいけない仕事だと思うのです。

お客さまの車が止まってしまうと、荷物も止まる。

荷物が止まってしまうと、その荷物を待つ人々の生活まで止めてしまうことになります。

自動車整備業とは本来、荷物を確実に届けることができるよう、車輛の万全の準備を整えること。

整備作業だけではなく、安全・快適に走るすべてのことを担っています。

だから、私たちは、お客さまのお客さま、

さらにその先まで見つめたサービスを提供できる自動車整備業でありたい。

物流を支え、人々の社会生活の根底を支えることこそ、

いづみ自動車のあり方なのです。

安心・安全という技術。

機械系から電子制御系へ。
 車輛のシステムや機器類の進化にともない、
 どんなに新しい整備技術が求められても、
 お客様の安心・安全をまもる姿勢は、
 変わることなく受け継いでいきます。

メカニックからエンジニアへ。 整備業の枠を超え、さらなる安心・安全を。

お客様の安心・安全をまもるために、私たちにできること、すべきことは何か。そう考えるとまず、正確な整備があげられます。不備や不具合は、絶対にあってはならないものだから、一つひとつ丁寧な作業はもちろん、より安全に走るために最適な整備の提案もします。そして、流通を支えるためにスピードアップも欠かせません。

車検や点検、一般整備で安全な走行を維持する「車輛整備」、運ぶ目的や用途によって車輛を最適な仕様に整える「車体整備」、エアコンやABS、エアバッグといった電装品の向上を図る「電装整備」など、物流を支える従来のサービスの他に、私たちが今後もっとも注力していくのは「電子制御系の高度な診断サービス」です。

自動車の主要部品のほとんどがコンピューターにより電子制御されている中で、その作動は機械的なものとは異なり、目に見えない解析と指示によって行なわれています。そこで私たちが今まで培ってきた機械的な技術と、新しい電子制御系の知識を融合させ次世代の安心品質を提供していきます。メカニックというよりエンジニアへの転身が求められるこれからの整備業界に、私たちは応えていきます。



困難な整備でも「諦めず、何とかする!」「物流を止めない」という強い想いで作業を実施。



最新の電子制御機器を診断するコントローラーで、目には見えない不具合や故障を察知。

電子制御系診断サービスの流れ

カウンセリング（問診）

診断機器と整備士の技術・知識の融合による測定

診断結果による整備や修理、メンテナンスのご提案

整備・修理

快適環境という品質。

低価格で高品質がいい。
とはいっても、高品質なサービスが、
すべてのお客さまを快適にするとは限りません。
それぞれのお客さまにあった
“好品質”なサービスがここに 있습니다。

「ITEM」や「グリーン経営認証支援」など、 お客さまのマネジメントをサポート。

お客さまが運ぶ荷物は、重量物であったり液体であったり、種類も違えば用途もさまざま。走行距離や使い方によって、車輛の状態も変わってきます。「定期点検や車検の義務を果たしていれば大丈夫」とは言いきれません。車輛の状態を常に良好にするためには、車輛ごとに最適な整備計画を立てることが大切です。

そこで、おすすめしたいのが、いづみ自動車ならではの整備システム「ITEM(いづみトラックエコノミカルマネジメント)」。これは、一貫した点検・整備によって車輛が抱える問題を把握し、予防整備や限界使用に努めることで、安全性や効率性を高めようというもの。車輛の状態になんの懸念もなく運行に専念できる環境づくりに役立つとともに、ムダのない整備や耐用年数の延長にもつながり、車輛の一生涯にかかる点検・整備費用を軽減できます。

また、地球環境に配慮した事業運営を進めるグリーン経営の取得をサポート。エコドライブによる燃費改善など経費削減効果に加え、社会全体が積極的な環境対策に取り組む中で、車輛を扱う私たちの重要なCSRとして取り組んでいます。



お客さまの大切な車を万全の体制で受け入れることができよう、工場内の環境整備にも配慮。



担当の整備士だけでなく、必ず上長も立ち会って、不備や不具合がないよう最終確認。

グリーン経営
認証取得支援プラン概念図



環境配慮の物流を支えます。

グリーン経営(環境負荷の少ない事業運営)認証制度とは、交通エコロジー・モビリティ財団が認証する国土交通省おすすみの制度。この点検項目を整備に反映することで、自主的で継続的な環境保全活動を行うとともに、省エネ・コスト削減効果を発揮します。

サービス内容

車輛整備（車検・点検・一般整備）～物流を止めない～

定期点検を確実に実施することによって、車検時に偏重する作業を平準化出来るだけでなく、突発の故障修理の軽減も実現されます。当社は、継続的な定期点検・車検・一般整備を通してお客様の車輛を常にモニター（監視）し続け、お客様の安全輸送に寄与します。

車体整備（架装・特装・钣金・塗装）～“快適に運ぶ”をカタチに～

輸送品質の向上を考えるに当たって、トラックの架装部における点検整備も重要性を増してきました。当社は様々な架装物・特装車の製作や故障修理はもちろん、定期点検の提案・実施を通じて、お客様の輸送品質向上に寄与します。

電装整備 ～見えないチカラで繋ぐ、支える～

エアコン、ABS、エアバッグ、バックカメラ、ドライブレコーダー等々と、安全で快適な交通環境の為に電機が担う役割は、その範囲を拡大し続けています。当社は、電装品の新規装着や故障修理に迅速に対応するだけでなく、新たな提案商品の開発・発掘にも力を入れています。

電子制御系の高度な診断サービス ～次世代の安心品質を～

整備業界では先陣を切る形で電子制御整備のネットワークに加入しました。この次世代の安心品質を提供すべく、今まで培ってきた機械的な技術と、新たに登場した電子制御系の知識と技術を融合させ、高度な診断技術を擁したエンジニア集団へと転身してまいります。

ITEM (Izumi Truck Economical Management) ～車輛管理を経営戦略に～

お客様の保有車輛と運行形態を理解し、それに合った整備プランを提案・実施することで、車輛管理のお手伝いを致します。お客様オリジナルの契約整備プランは、必ずや欠かす事の出来ない経営戦略となるでしょう。

グリーン経営認証支援 ～環境と物流の共存を～

お客様の必要性に応じて、認証取得支援・認証基準項目点検作業・認証車輛管理業務委託という、三つの分野でお手伝いをさせていただきます。グリーン経営認証制度を知り尽くした当社が、自信を持って提案することの認証維持サービスは、車輛の整備管理においても飛躍的な効率化の実現をお約束します。



輸送品質の向上のためにもトラックの架装部における点検整備も重要性を増しています。



快適な運行をするために電機は必要不可欠です。最先端の技術と知識で安全な走行をお約束します。

経営理念

1. 私たちは、お客様に満足いただける真心を込めたサービスで、安全でより快適に安心できるお車を提供いたします。
2. 私たちは、自動車整備を通じて、故障・事故・公害・騒音の社会的マイナス要因の少ない環境創造のお手伝いをします。
3. 私たちは、社員と共に学び、共に育ち、共感し、心も満たされる環境の場を実現します。
4. 上記をもって、地域オンリーワン企業を目指します。



ご依頼いただいた整備項目だけでなく、安全走行のために必要な整備プランをご提案しています。



私たちの運搬感と協調性は、物流を支える、止まないという大きな責務から生まれています。

会社概要

代表者 代表取締役社長 田村 圭

取引先銀行 千葉銀行 五井支店

従業員数 54名(2010年4月)

工場施設

(本店)

第一工場:敷地面積 2550㎡

大型車検整備(5ライン)

大型一般整備(3ライン)

小型整備(4ライン)

第二工場:敷地面積 1,152㎡

一般整備・電装整備・特装整備(前後8ライン)

第三工場:敷地面積 828㎡

車体整備・特装整備(6ライン)

大型塗装ブース

(姉崎店)

工場:敷地面積 3,120㎡

大型車検整備(4ライン)

大型一般整備(2ライン)

小型整備(2ライン)

メーカー協力・指定

極東開発工業 株式会社
昭和飛行機工業 株式会社
東急車輛製造 株式会社
日本トレス 株式会社
株式会社 矢野特殊自動車

参加・加入団体

社団法人 千葉県自動車整備振興会
千葉県自動車整備商工組合
関東トラックモニタリング協同組合
ロータストラックネット
PitCom(ピットコム=日立オートパーツ&サービス)
オリックス・オート・ミリオン・クラブ(オリックス自動車)
プレミアムクラブ(住友三井オートサービス)
関東テック協同組合
千葉県中小企業家同友会
ひまわりマネジメントスクエア(ちばぎん総合研究所)

沿革

- 1967年08月 小泉吉之助が いつみ自動車工業として横浜市南区に於いて創業。その後翌年に市原市八幡海岸通8に移転。
- 1971年08月 千葉県市原市岩崎西1-6-5に移転。
- 1971年10月 法人に変更する。
社名「いつみ自動車株式会社」設立 資本金1,000万円。
代表取締役役に小泉吉之助が就任する。
分解整備事業認証取得第3-2231。
- 1971年11月 分解整備事業認証取得第3-3404号。
- 1974年03月 指定自動車整備事業(民間車検場) 指定取得 関東指3-356。
- 1976年07月 第二工場建設(市原市岩崎1-1-21)。
- 1989年10月 第二工場 分解整備事業 認証取得 第3-3404号。
- 2001年05月 第三工場建設(市原市岩崎西1-2-25) 钣金・塗装工場を移転する。
- 2004年12月 トラック部門の年間車検台数が1,000台を超える。
- 2005年09月 運送事業者の環境関連認証「グリーン経営」認証取得支援プログラムを開発し、コンサルティング業務を開始する。
- 2006年02月 姉崎店 開設(市原市今津朝山290-1)。
- 2006年03月 姉崎店 指定自動車整備事業(民間車検場) 指定取得 関東指第3-1654号。
- 2006年04月 毎日新聞社より取材を受ける。
- 2007年04月 自動車新聞社より取材を受ける(月刊アフターマーケット)。
- 2007年09月 オリックス自動車株式会社より営業成績優秀の表彰を受ける。
- 2008年06月 危険物安全協会より優良事業所の表彰を受ける。
- 2009年03月 創業者である小泉吉之助が引退し、田村 圭 が代表取締役に就任。

本店・第1工場

〒290-0046
千葉県市原市岩崎西 1-6-5
TEL 0436-22-0021
IP 050-3539-0021
FAX 0436-22-6152



姉崎店

〒299-0160
千葉県市原市今津朝山 290-1
TEL 0436-60-7721
IP 050-3539-7721
FAX 0436-60-7723



自動車整備業を変える、 という発想。

自動車整備業の仕事は、
整備作業の提供だけではありません。
それを通じて、安心・安全な物流、
さらには豊かな社会生活をも支える
誇り高き仕事なのです。

運送業者さまから荷主さま、そして消費者へ。
お客さまのその先まで、感謝の気持ちをつなげて。

大阪では商売成立時に、売り手も買い手も「おおきに」といいます。これは、「おおきに(大いに)ありがとう」が省略されたもので、つまり、「ありがとう」以上の感謝の意になります。お互いにメリットのあるWin-Winな関係、さらには、お互いに心豊かになれるhappy-happyな関係こそ、私の商売の基本。「おおきに」の気持ちを贈り贈られる、感動を生む仕事をしたいと思うのです。

自動車整備業は、とすれば、特殊技術を持ったメカニック集団であると思われがちです。もちろん、定期点検をする、部品交換をする、修理をするといった技術的なサポートをするのが主な仕事。でも、その技術面だけに固執し、本来サービス業であることを強く意識しないまま長年を費やしてしまった結果、どんなに高い技術を提供していても、当たりまえの仕事になってしまったのです。今こそ、サービス業に立ち返り、新たな付加価値を持って自動車整備業を変えるとき。

そこで、いつみ自動車は考えました。「当社とお取引いただくことそのものが、お客さまの経営戦略の一つになること」を。お客さまの経営戦略になるには、お客さまの先にあるものを考えなければなりません。お客さまである運送事業者さまのお客さまは荷主さま、そのお客さまは工場、そのお客さまは……。そうたどっていくと、私たちの仕事は、「『確実に何かを届ける』という物流業界の下支え」であり、「人々の社会生活の根底を支える仕事」であることがわかります。

いつみ自動車は、社会生活を支える物流業界の一員という意識を持って、日々進化していく技術や情報に迅速に反応し、最適な対応を提供していくことで、お客さま、その先の多くの人々とつながっていきたいと思います。「おおきに」の言葉とともに。

